

おだわらを拓く力  
ニュースレター  
**Powers!**

# 持続可能な地域社会を、この小田原から!

～民・官で進む、まちづくりの様々な動き～

## 合併協議終了、市民意識の把握へ

「小田原市・南足柄市『中心市のあり方』に関する任意協議会」は昨年より9回の協議を重ね8月に終了。その結果について市民向けの説明会を複数回開催、小田原市長として「合併という選択が可能であれば進むべきである」という考えを明確にしました。両市では市民の意識を把握するためのアンケートを10月に実施。11月中に出揃う結果を踏まえ、今後の進め方を見極めていきます。



## 市民ホール、3つの事業提案を選定

平成27年7月の入札不調を踏まえて、事業費を63億円に抑え、設計・施工一体での事業提案方式で実施した技術提案募集には4者の応募があり、9月の1次審査にて3者を選定。いずれも市の要求水準を満たした魅力的かつ優れた提案。12月の2次審査にていよいよ優先交渉権者が決定します。



## 再生可能エネルギー 欧州の先進事例に学ぶ



東日本大震災以降、全国に先駆けて取り組んできた小田原の再生可能エネルギー関連事業は、民間事業者・市民・行政それぞれの努力と連携により、着実にステップアップ。「ほうとくエネルギー」「湘南電力」「環境志民ネットワーク」などの連携は各方面から注目され、環境省の仲立ちで9月にはドイツ・オスナブリュック市と交流を深めました。

## 東アジアの平和に貢献 中国・韓国と友好親善

小田原では民間団体の皆さんが、中国・安陽市との書画展相互開催、韓国・済州市とのサッカー・バドミントン選手の相互訪問を通じ、それぞれ青少年交流を育んできました。それぞれ数年来の交流に敬意と感謝を表すべく、8月に安陽市を、10月に済州市を表敬訪問。今後の更なる友好親善を市としても後押ししていきます。



## HaRuNe 小田原 支えられて3周年



平成26年11月1日にオープンしたHaRuNe小田原。駅に隣接する貴重な公共空間として、また地域資源の魅力を発信し街なかへの回遊を促す拠点として、市民や観光客の皆さんに親しまれています。様々なイベントで活用されると共に、テナントの皆さんの努力もあり売上も好調。この11月で満3歳。更なる成長を目指します。

## 加藤市長からのメッセージ

衆議院総選挙が終わりましたが、この国が直面する諸課題の解決がどう進められるか、先行きは不透明。地方都市がしっかりと自らのビジョンと努力で、現実を創り出していくことが必要。実践を進めましょう!

2017年秋 小田原市長 加藤憲一

